

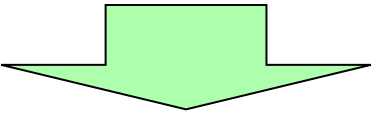
川西市(近畿圏ブロック)

【計画期間 22年11月～27年3月】

- ・ 中世～：清和源氏発祥の地として源氏発展の基礎を築き、ゆかりの寺社を抱える。
- ・ 昭和40年代～：交通利便性を活かした大阪のベッドタウンとして発展。

○鉄道・バス等の主要な公共交通機関が集中した住宅都市として発展。

○昭和40年代以降、民間と連携した市街地再開発事業により発展したが、近年、施設の老朽化や近隣市町における大規模店舗の立地により、中心市街地が衰退。



○年間商品販売額の減少

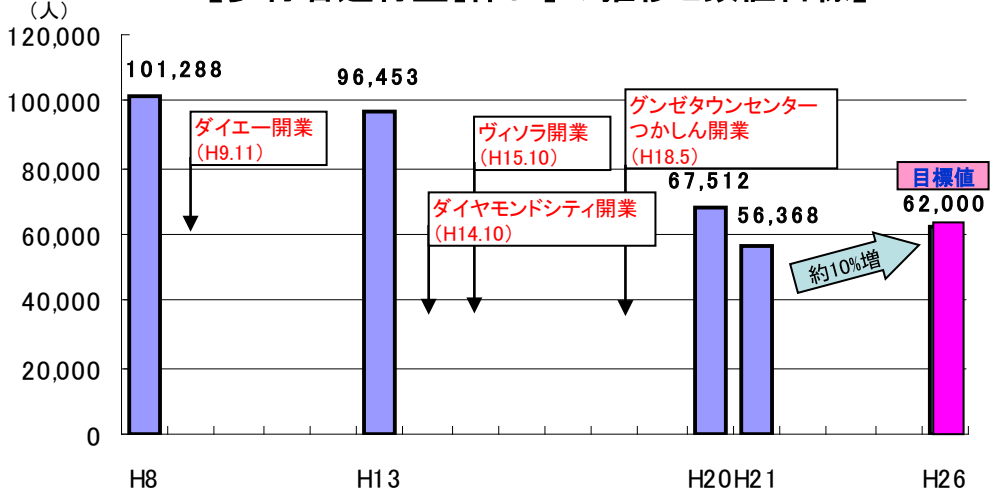
H9: 668億円 → H21: 536億円 (▲19.8%)

○歩行者通行量[休日]

H8: 101,288人 → H21: 56,368人 (▲44.3%)

目標	指標	現況値(H21)	目標値(H26)
魅力的で活気のある「かわにしのせぐち」の創造	年間商品販売額 (小売業)	536億円/年	540億円/年
楽しみながら回遊したくなる「かわにしのせぐち」の創造	休日歩行者通行量	56,368人/年	62,000人/年

【歩行者通行量[休日]の推移と数値目標】



■リニューアルした再開発ビル地下1階への魅力的なテナント誘致、情報配信システムの構築等を中心に、あらゆる世代が楽しめる魅力的で活気あるまちを目指す。

→ 主要事業: ①アステ川西地下1階リニューアル事業、②情報配信システム構築事業、など

■文化交流イベント・施設の拡充、遊歩道整備等により、楽しみながら回遊したくなるまちを目指す。

→ 主要事業: ④かわにしにぎわい創出イベント事業、⑤かわにし朝市事業、⑥せせらぎ遊歩道整備事業、など

川西市中心市街地活性化基本計画の事業概要

魅力的で活気ある「かわにしのせぐち」の創造

○アステ川西地下1階リニューアル事業(①)

駅前再開発ビルの地階フロアの改修にあわせゾーニングを再構築し、食料品店と若者等をターゲットとした飲食・物販店を誘致。



リニューアルイメージ

○情報配信システム構築事業(②)

①により整備されるコミュニティプラザにタッチパネルを配置し、施設内のイベント情報配信、クーポン券の発券等とともに、地元商店街と連携した「きんたくんショップ」制度を実施。



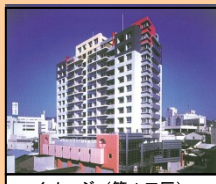
きんたくん

○パーティ川西A&Hデザイン構築事業(③)

老朽化が進み、にぎわいを失いつつある再開発ビルについて、市内の芸術家や大学生との協働作成により、誘導サイン、施設案内板等を設置する。

○川西能勢口駅東地区第二工区優良建築物等整備事業(④)

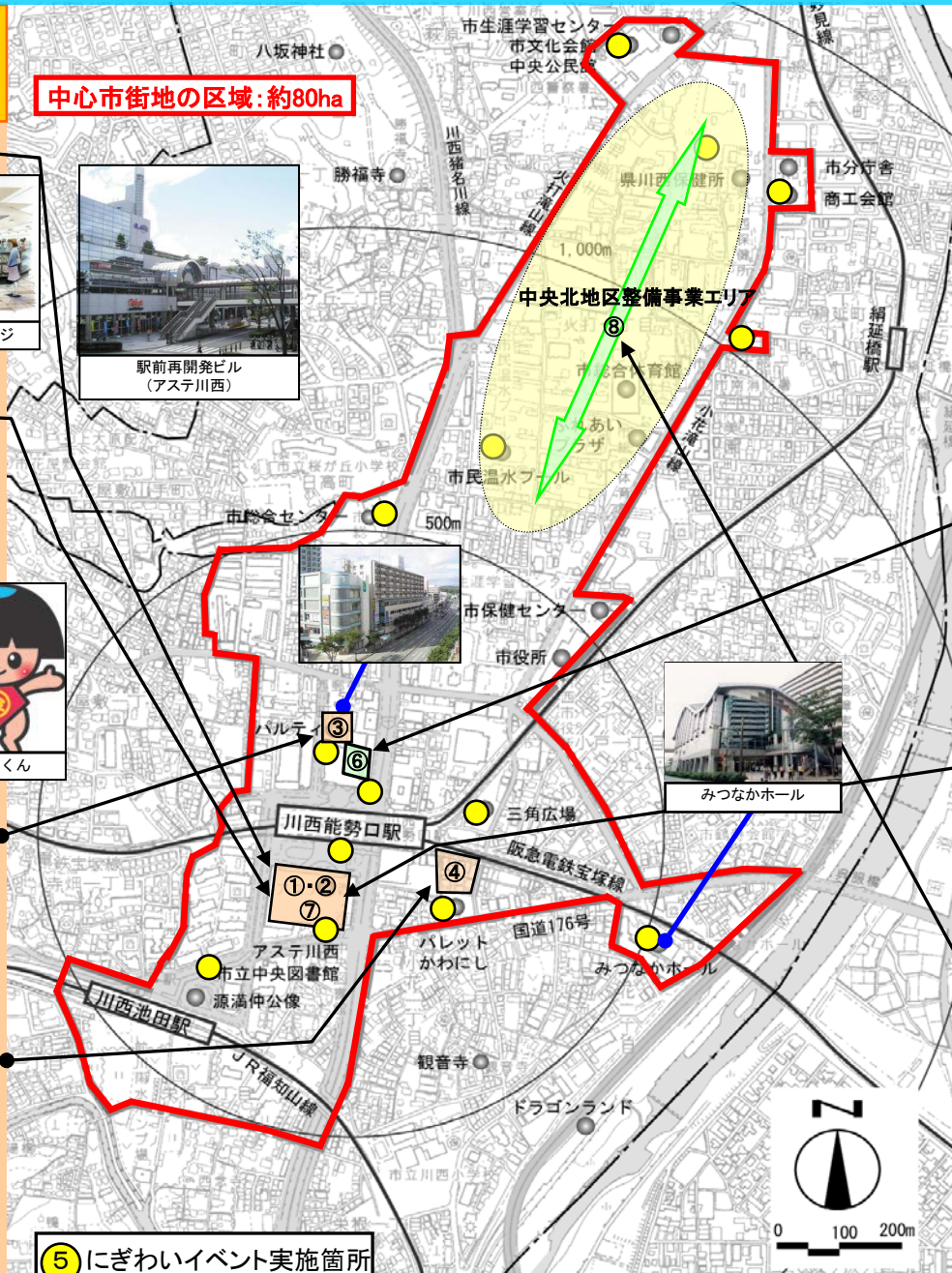
立地条件の良好な駅東エリアに専門店街(小型SC)と住居(約60戸)の複合施設を建設。



イメージ (第1工区)

中心市街地の区域: 約80ha

⑤ にぎわいイベント実施箇所



楽しみながら回遊したくなる「かわにしのせぐち」の創造

○かわにしにぎわい創出イベント事業(⑤)

市民参加の落語、ダンス・音楽コンテスト等、中心市街地内で市民参加型の文化交流イベントを展開。



落語会 (川西繁昌亭)



ダンスコンテスト

○かわにし朝市事業(⑥)

地元特産のいちじく・桃をはじめとした農産品を生産者を明示し、産直価格で販売する朝市を定例化。



朝市イメージ

○コミュニティスペースにぎわい空間整備事業(⑦)

多目的ホールの音響・防音・照明機能の大規模改修を実施。市民の文化活動観光の機能向上を図る。



みつなかホール

○せせらぎ遊歩道新設事業(⑧)

かつての工場密集地帯の土地利用の転換を図り、公園とビオトープを配した遊歩道を整備。



遊歩道イメージ